

57

(27)

英印軍の馬車奪回作戦に於ける終戦

陸軍

軍は英印軍の馬車奪回作戦に於ける終戦に於ける精神を以てし
 軍長一併着々防衛作戦を準備し馬車の兵力逐次増加せし其の作戦に自信
 を有す下を以て八月十五日迄に終戦の詔勅を拝す。将兵一同万斛の
 涙を吞んで承認は謹堪へ難きを堪へて終戦処理に任し。其時軍長及
 この詔勅を拝し果して聖慮に出でたるものなりや否やたゞき相当苦慮せし
 一時は軍を率ひて最後の決戦を考慮せしむるも遂に終戦に系結せ
 る終戦を決意せしむる日軍の名譽にかけ治事と維持し後を汚さざるの終

を指しおせらるり。

八月十日帝國統戦に關す、外電を信受し、眞偽不妖の外電を信受す。時

松も軍令及ハシ島防衛の爲め、理地陸海軍研究演習に参列し、其を

急遽 タイピンに帰還し、軍に對し、輕率を戒めらる。

二八月十一日進攻作戦中止、命令あり。

三八月二十日閑院宮春仁に殿下昭南に於て聖旨を傳達せらる。

四八月廿五日、命令時を期し、作戦任務を解除し、一切の武力行爲の停止を

命せらる。

南島軍

陸軍

五月廿一日 南島軍の降服 文書に於て降服文書の島を又頷す。

六月廿日 英軍は南島に上陸を開始す。

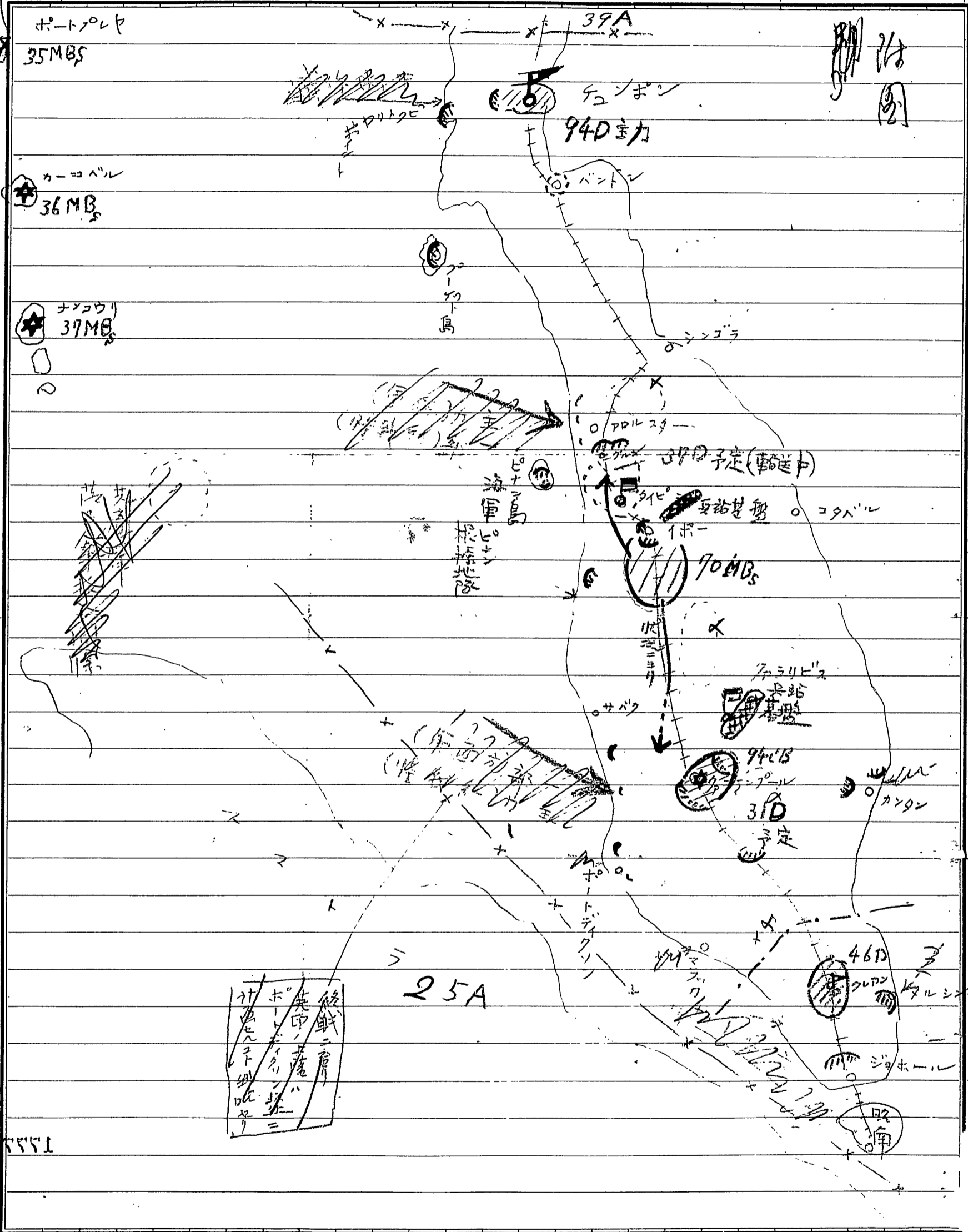
英軍はポートセレンハムに上陸を開始す。

七月十三日 軍令右軍中將 グラランポールに於て 降服

文書に 調印を了せり。

第二十九軍配置要図
昭和二十八年八月

陸軍



59

1777

1558